

流山市立図書館の司書が選んだ 中学生におすすめの本

進路、家族、友達、部活、恋愛…何かに悩んでいる時、いきづまっている時、
そうでなくても単純にいろんなことを経験したい、知りたい時に、
本は何も言わずに寄り添って、君たちの力になってくれるはず。
読んで面白かった本は読書手帳につけて、記録に残してみましよう。
後で思い出すときや、友達と読んだ本について話すときに便利です。

タイトル	作者	出版社	ページ数	請求記号	内容・ポイント
16歳の語り部 ^べ	雁部 那由多、津田 穂乃果、相澤 朱音/著	ポプラ社	220p	369	東日本大震災の当時、小学5年生だった3人が語る、大人が見過ごしていた子どもたちのリアル。同世代の皆さんにも、大人にも読んでほしい一冊。
飛ぶ教室	エーリヒ・ケストナー/著	岩波書店	234p	ケ	ボクサー志望のマチアス、母親思いで秀才のマルチン、弱虫のウリー、文才のあるヨーニー…様々な少年たちがあつまる寄宿学校での、悲喜こもごもを描きます。
空色バウムクーヘン	吉野 万里子/著	徳間書店	314p	913.6/ ヨシ	体重42キロのやせっぽち、鏡池若葉が高校に入学してひきずりこまれた部活は…ウェイトリフティング部!?せっかく相方もみつけて、夢のお笑い芸人に一歩近づくはずだったのに…向いてないよ、こんなスポーツ!!すぐ退部届をだすはずだった若葉だが…。
ドームがたり	アーサー・ビナード/作 スズキコージ/絵	玉川大学出版部	34p	Eス	広島原爆ドームの視点で、原爆が落ちる前から落ちた後を描く。絵でありながらも伝わってくる当時の痛々しさとともに、現状から、戦争は「ほんとうにおわったのか?」という問いかけが胸に残る絵本。
小やぎのかんむり	市川 朔久子/著	講談社	249p	913/イ チ	夏芽は中学3年生。親との確執をかかえています。小さな山寺のサマーキャンプを通し、人の優しさを知っていきます。

タイトル	作者	出版社	ページ数	請求記号	内容・ポイント
西の魔女が死んだ	梨木 香歩/ 著	新潮社	226p	913.6/ ナキ	中学に進んでまもなく学校に足がむかなくなってきた。西の魔女のもとでひと夏魔女修行をするのですが、修行で大事なことは、「なんでも自分で決めること」でした…。
ミスターオレンジ	トゥルース・ マティ/作	朔北社	253p	949/マ テ	1943年のアメリカ。八百屋の少年ライナスは、毎週一箱オレンジを注文する、ヨーロッパから避難してきた画家と出会う。呼び方が難しいため、ミスターオレンジと名前をつけた彼との交流を通し、ライナスは想像の自由を守ることの意味を考え始める…。
歩く	ルイス・サッ カー/著	講談社	347p	933/サ ッ	アーム・ピット（脇の下）とX・レイ（X線）がお金儲けを画策。大人たちの落とし穴をうまくかわし、大もうけはできるのか！？前作『穴』と合わせて読むと、より楽しめます。
ムーンレディの記憶	E・L・カニ グズバーグ/ 作	岩波書店	270p	933/カ ニ	転校生のアメディオはウィリアムと一緒に、風変わりなゼンダー夫人の下で家財道具の処分を手伝っていた。そこでモデルリアーニのヌード画を発見するのだが、その絵には過去から現在にわたる驚くべき真実が隠されていた…。
エンデュアランス号 大漂流	エリザベス・ コーディー・ キメル/著	あすなる 書房	167p	297	南極横断に失敗し、氷の南極海に取り残されたエンデュアランス（不屈の精神）号の28名の運命は…。逆境でもユーモアを忘れず、困難を乗り越えた人たちのお話です。



夏休み中の図書館開館のお知らせ

7月19日（水）～8月31日（木）までの間、流山市の図書館は開館しています。

《夏休みの図書館開館時間》

- ◆中央・森・木の図書館 火～土曜日／9：30～20：00
日・祝・月曜日／9：30～17：00
- ◆南流山分館 火～土曜日／10：00～20：00
日・祝・月曜日／10：00～17：00
- ◆北部・初石分館 10：00～17：00
- ◆おおたかの森こども図書館 10：00～17：00